

## 産科への転院

### 胚移植後の診察・転院

胚移植後、受精卵が無事着床し、順調に成長していくとご懐妊となります。妊娠後、ホルモンが安定し始めるのが妊娠9週からと言われてはいますが、個人差がございます。当院では、安定期直前の妊娠11週目まで診察を行い赤ちゃんの成長を見守ります。その後、しっかりとした紹介状を作成させていただきますので、他院にて通院、出産の準備をしていただきます。タイミング法や人工授精（AIH）でのご懐妊の場合も同様となります。

### 転院先について

通常、胎嚢確認は妊娠5週目頃、心拍が確認できるのは6～7週目頃になります（個人差があります）。当院では、産科への転院のための紹介状を妊娠11週目頃にお渡ししています。転院先の病院によっては分娩制限を設けているところもございますので、5～7週目ごろには転院先をご検討いただき、場合によっては転院先の病院にお問い合わせいただくことをお勧めします。ご希望の転院先候補が決まりましたら、予約時期などをスタッフにご相談ください。

## 産科への転院 Q&A

### ❁ どこの産院がいいのでしょうか？

- ❖ 当院からは紹介状をお渡しするので、産院を特定してのご紹介はしておりません。患者様ご自身でご検討されて産院をお探しく下さい。
- ❖ 病院によっては分娩制限を設けているところもございますので、心拍が確認でき、母子手帳がもらえるようになりましたら、ご希望の産院に電話等で直接お問い合わせいただくことをお勧めいたします。

